

(様式 4)

県政調査報告書

平成29年6月29日

県議会議長 佐藤 光 殿

会派名 県政会神奈川県議会議員団

団長名 相原 高 広

(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり実施しましたので、報告いたします。

| | |
|--------|--|
| 1 調査議員 | (調査団長) 相原 高 広 (団 員) 馬場 学 郎 楠 梨恵子 池田 東一郎 高橋 延 幸 |
| 2 調査目的 | スポーツによる地域活性化(スポーツツーリズム、スポーツコミッションなど)の取組事例やMICE(※)の誘致・受入れについて調査することにより、今後の本県におけるスポーツ振興、観光振興による地域活性化の取組など各種施策の推進に資する。 ※ MICEとは、Meeting(企業等のミーティング)、Incentive Travel(企業等の報奨旅行)、Convention(国際会議)、Exhibition/Event(展示会・イベント)の総称。 |
| 3 調査期間 | 平成29年3月27日～平成29年3月29日 |
| 4 調査地 | 宮崎県 |
| 5 調査内容 | ・調査内容は、別添のとおり。 ・経費は、合計565,326円であった。 |



県政会神奈川県議会議員団 県政調査報告書



宮崎県議会前にて
(左から馬場学郎議員、高橋延幸議員、楠梨恵子議員、
相原高広議員、池田東一郎議員)

於：宮崎県
平成29年3月27日(月)～29日(水)

I 学校法人大淀学園宮崎産業経営大学及び学校法人大淀学園鵬翔高等学校

視察先 学校法人大淀学園宮崎産業経営大学（宮崎県宮崎市古城町丸尾100）
学校法人大淀学園鵬翔高等学校（宮崎県宮崎市大字恒久4336）※
※鵬翔高等学校サッカー部を視察したが、サッカー部は宮崎産業経営大学のグラウンドで練習しているため、同大学のグラウンドを訪問した。

日 時 平成29年3月27日（月）13時30分～15時

対応者 宮崎産業経営大学高大連携センター長：柚原 知明 氏
宮崎産業経営大学サッカー部部長：徳地 慎二 氏
宮崎産業経営大学サーフィン部監督：坂上 司 氏
宮崎産業経営大学新体操部監督：竹澤 恵菜 氏
宮崎産業経営大学学長室：日高 一哲 氏
鵬翔高等学校サッカー部監督：松崎 博美 氏

1 宮崎産業経営大学の概要

宮崎産業経営大学は、昭和62年に開学した大学である。

法学部・経営学部を擁する宮崎県内唯一の社会科学系の大学として、地域社会における中核的人材の育成と、大学が有する学術研究機能を地域に還元することを通して地域に貢献している。

教員は40名程度、学生は950名程度在籍している。

就職率は98%を超えており、日本一就職率がよく、面倒見のよい、キャリア教育を目指している。

2 宮崎産業経営大学のクラブ活動

(1) クラブ活動の概要

9つのクラブが強化指定クラブに指定されており、950名の学生のうち250名がいずれかの強化指定クラブに参加している。

強化指定を受けているクラブは、サーフィン部、新体操部、サッカー部、剣道部、空手道部、バスケットボール部、柔道部、硬式野球部、陸上競技部の9クラブである。

サーフィン部は、個人、団体とも日本一であり、上位の選手はほとんどがプロライセンスを持っており、プロ契約を結んで者もいる。

新体操部は、2年前に竹澤監督が就任し、体育の授業と併せて新体操部の指導をしている。

空手道部は、所属選手が世界大会で金メダルを獲得している。

サッカー部は、4年前に宮崎県代表として天皇杯に出場している。



説明を受ける調査団

(2) 新体操部

部員は4名（平成28年度卒業生を除く。）で、主に九州出身の選手である。

九州学生新体操選手権大会個人総合優勝し、全日本学生新体操選手権大会に毎年個人出場している。

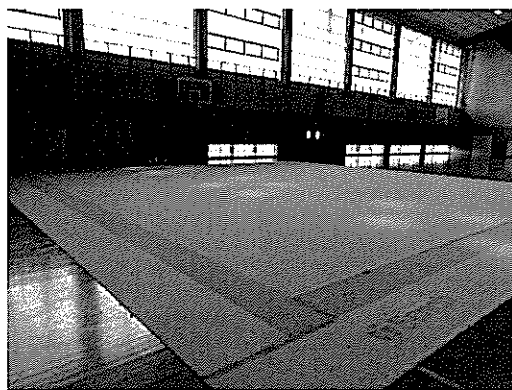
ブルガリアのレフスキー新体操クラブから毎年2回コーチに来ていただいている関係から、国際交流がある。この交流がある関係で、ブルガリア、フィリピン、カザフスタン、日本の4カ国で2017年2月に行われたサニックスオープンに出場し、3位に入賞した。

地域活性化の活動として、県内の子ども達を対象にした新体操教室を週に1回土曜日の午前中に開催している。この新体操教室は、学生がボランティアで指導に立会い、年度末の発表会に向けて一曲の演技を作り、トレーニングをするなど、学生が主体となって活動している。

また、県内の宮崎県代表選手を強化週間として、本学の体育館を利用して、竹澤監督やオリンピック代表のコーチを外部から講師として呼んで、県内の選手を強化するために色々企画を行っている。



新体操部練習場で説明を受ける調査団



新体操部練習場

【質疑応答】（新体操部）

Q. 女性のアスリートの育成に当たり、ホルモンバランスの関係で無月経になってしまふことがあり、選手生命どころかその後の人生にも影響を及ぼす場合がある。女性を指導する場合、メンタル面、食事にも気をつけていかなければならないが、女性を指導する立場として、どういったことに気をつけているのか。

A. 見た目では採点される競技であり、減量が必要になり、栄養バランスが悪くなってしまう、怪我に繋がり選手生命が絶たれるケースがとても多い競技となっている。

フェアリージャパンと呼ばれる日本代表選手は、国立体育センターのサポートがあり、分野別のトレーナーがついて指導している。

栄養面、トレーニング面、怪我の面など、すべての面を一人で指導するのは難しいので、トレーナーをつけ、栄養士に栄養の取り方を指導してもらい、一人ひとりの身体に合わせたトレーニングをするようにしている。

体調面は、体調の良いときにトレーニングして、体調が悪いときは無理をさせないようにしている。

トレーナーと相談しながら客観的に選手を観察して指導メニューを考えている。

一人の指導者の力だけで強い選手を育てるのは難しいので、チームを組んで選手をサポートしていくことにより、より効果的な指導ができる。

(3) サーフィン部

2002年にマリンスポーツ部ができ、翌年サーフィンに特化したサーフィン部に名称を変更した。

宮崎は南北に長い海岸線があり、南、東、北の三方角からもしっかり風が入ってくるので、年間330日くらいはどこかで良い波がある。このため優秀なサーファーを輩出している。

サーフィンの特待生を受入れているが、全国的に見ても宮崎産業経営大学だけが行っていることである。

創部から15年経つが、全日本学生サーフィン選手権大会で総合優勝を12回しており、近年では4連覇している。

年に1回地域貢献の一環として、一般参加のサーフィン大会を開催している。学生が企画運営し、県内企業や商店から協賛をいただき、12年連続で開催している。

【質疑応答】（サーフィン部）

Q. サーフィン大会は、箱根駅伝のように、学生がマネージメントして運営しているとのことだが、箱根駅伝は、関東陸連の先生方のバックアップがある。この大会は、学生だけですべて運営されているのか。

A. 本学のサーフィン部の背丈にあった大会であり、本学だけで運営できる範囲でやっております。大きくする予定はない。今まで応援して下さった方のために開催している。

Q. 神奈川県湯河原町では、サーフィンをする人が多くおり、年に何度か集まって、大会前に海岸清掃するなどの活動をしており、地域に密着した活動をしているが、大学生に今後地域とどのように接点を持たせ、地域にどう貢献していくよう指導していくのか。

A. 今後は、中学、高校に種を蒔いて、我々が指導して、サーフィンの良さを広めていきたい。そうした活動は、我々だけではできないが、幸いサーフィン連盟が立ち上がり、体育協会に加盟し、教育委員会とも話をするようになった。高校のサマースクール的なところで指導するなどしていきたい。

(4) サッカー部

部員は69名で、監督は、笛真人監督。

コーチ2名（本学OB）、トレーナー2名の体制で指導している。

大学サッカーは地域ごとに分かれており、本学は九州地区の1部に所属している。

大学サッカーは、まず学業をきちんとした上で行うものであり、成績が振るわない学生には部活動停止を科している。

これまで、4人のプロ選手を輩出している。

プロに行ける場合でも、就職を選ぶ選択もあると指導している。サッカーで食べていける人は非常に少ないので、将来を見据え、しっかり単位を取りながら部活動をするように指導している。プロに行ったとしても、サッカーは選手寿命が短いので、自分の足でしっかり立てるように学力と知識をつけるように指導している。

社会に出てからのノウハウをつけてほしいので、各県持ち回りで開催する九州カップの運営をすべて学生に任せている。グラウンドのレンタルの交渉や予算管理、帳簿の付け方、領収書の管理など学生にすべてさせている。

ハウレンソウ（報告、連絡、相談）をしっかりとしないと厳しいペナルティーを科すなど、社会に出ても困らないマナーを身につけられる運営をしている。

【質疑応答】（サッカー部）

Q. 選手は、どこの出身者が多いか。

A. 鹿児島と宮崎の選手が多い。

鹿児島の高校は、鹿児島実業、神村学園、鹿児島城西など。

宮崎県内からは、姉妹校の鵬翔高校、宮崎日大、日章学園など、全国大会常連校からいい学生をお願いして来てもらっている。

3 鵬翔高等学校について

鵬翔高等学校は、宮崎産業経営大学と同じ学校法人大淀学園が設置した全日制の高校で、特進英数科、英数科、くらしの科学科、システム工学科、看護科の5学科が設置されている。

鵬翔高等学校は、体育系部活動が盛んであるが、その中でもサッカー部は、度々全国大会に出場しており、2013年には全国高校サッカー選手権で優勝している。

鵬翔高校サッカー部は、同じ学校法人が設置した宮崎産業経営大学のグラウンドで練習を行っており、プロサッカー選手を複数輩出している。



鵬翔高校サッカー部松崎監督（左端）から説明を受ける調査団



鵬翔高校サッカー部練習風景

II フェニックス・シーガイア・リゾート

視察先 フェニックスリゾート株式会社（宮崎県宮崎市山崎町浜山）

日 時 平成29年3月28日（火）11時～12時

対応者 フェニックス・シーガイア・リゾート執行役員経営本部本部長

永井 壽志 氏

フェニックス・シーガイア・リゾート営業本部法人営業部副部長

瀬戸口 英明 氏

1 フェニックス・シーガイア・リゾートの概要

フェニックスリゾート株式会社が運営するフェニックス・シーガイア・リゾートは、宮崎市の東岸に位置する太平洋に面した南北約11km約700ヘクタール（約212万坪）の黒松林に囲まれた自然の中に広がるリゾートである。（212万坪＝東京ドーム約150個分の広さ）

フェニックス・シーガイア・リゾート内には、736室を有し、高さ154mにも及ぶ45階層のプリズム型ホテルのシェラトン・グランデ・オーシャンリゾート、大規模なコンベンションなどの開催が可能なシーガイアコンベンションセンターと、フェニックスカントリークラブをはじめとするスポーツ施設などがある。

シーガイア（現フェニックス・シーガイア・リゾート）は、1988年に総合保養地域整備法の第1号指定を受けた「宮崎・日南海岸リゾート構想」の中核施設として建設された。

2 フェニックス・シーガイア・リゾートの歩み

| | |
|--------------|--|
| 1969年 | フェニックス国際観光(株)設立（フェニックスリゾート(株)の前身） |
| 1971～ 73年 | 一ツ葉エリアに、ホテルやゴルフ場等がオープン フェニックスカントリークラブ、サンホテルフェニックス、フェニックス自然動物園（現：宮崎市フェニックス自然動物園）等 |
| 1974年 | 第1回ダンロップフェニックストーナメント開催 |
| 1988年 | フェニックスリゾート(株)設立 ※「宮崎・日南海岸リゾート構想」が総合保養地域整備法（リゾート法）第1号指定 |
| 1993～ 94年 | シーガイア オープン（現：フェニックス・シーガイア・リゾート） オーシャンドーム、トム・ワトソンゴルフコース、ホテルオーシャン45（現：シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート）、ワールドコンベンションセンター サミット（現：シーガイアコンベンションセンター）等 |
| 2000年 | 九州・沖縄サミット宮崎外相会合 開催 会社更生法申請 ※スポンサー会社にリップルウッド・ホールディングスLLC（現：RHJI） |
| 2002～ 04年 | シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート リニューアル 温泉施設「松泉宮」オープン フェニックスゴルフアカデミー オープン |
| 2007年 | オーシャンドーム閉鎖 |

| | |
|-------|---|
| 2013年 | セガサミーホールディングスがフェニックスリゾート(株)の全株式を取得 |
| 2014年 | ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点(ゴルフ)に指定される |
| 2016年 | フェニックス・シーガイア・リゾート リニューアル ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点(トライアスロン、パラトライアスロン)に指定される |

3 器=モノを提供するリゾートから体験=コトを提供するリゾートへ

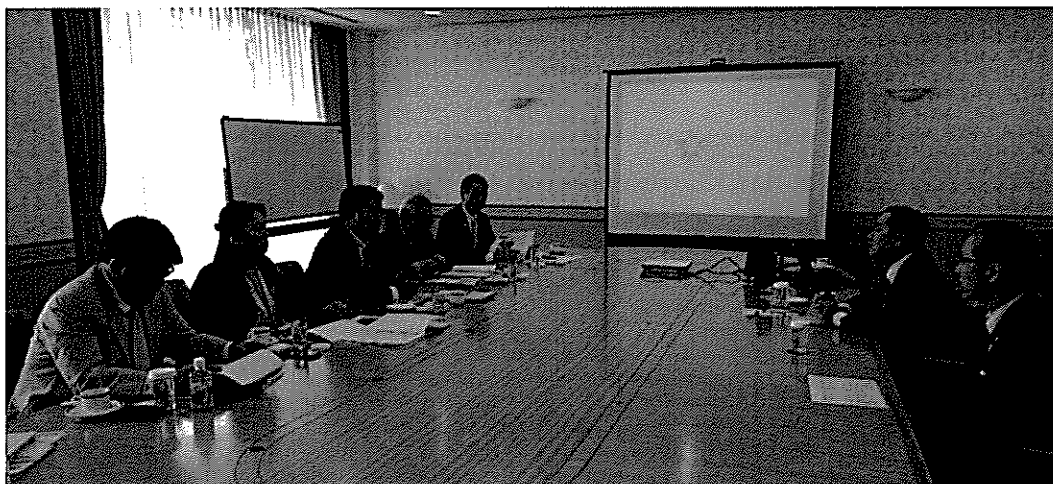
フェニックス・シーガイア・リゾートは、開業当初、世界最大級の施設であったオーシャンドームなどの施設による器=モノを提供するリゾートであった。

2001年の会社更生法の申請や、2007年のオーシャンドーム閉鎖があり、顧客ターゲットの変更が必要となった。

2016年のリニューアルに当たり、器=モノを提供するオールターゲットのリゾートから、体験=コトを提供し上質・オンリーワンで宮崎を感じることを求める方をターゲットにする大人のリゾートへ転換した。

このリニューアルに当たり、「小さい事」から「大きな事」まで様々なリニューアルを進めている。リニューアルは、スタッフ一人ひとりがシーガイアの魅力を再認識し、シーガイアでしか味わえない「体験価値」を創造する事を目標に、自主的な取組みを基盤として行われている。

シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートでは、スタッフが1泊2日でホテルに宿泊する体験ツアーを実施しており、実際に宿泊してスタッフ自身が体験した実感を宿泊者に伝えている。



説明を受ける調査団

【質疑応答】

Q. オーシャンドームの解体工事をして
いるが、跡地はどうなるのか。

A. 屋外競技用のナショナルトレーニング
センターの誘致に宮崎県が手を上げ
ており、跡地にそれを作りたいと考
えている。

Q. 日本代表がスポーツ合宿を行って
いるが、日本代表の合宿で必要にな
った



オーシャンドーム跡地

ものはあるか。

- A. ラグビー日本代表合宿を受け入れた際に、製氷機を導入した。
選手は、練習後身体を冷却するために氷の風呂に入るため、大量の氷が必要になる。これに対応する製氷機をホテル内のレストランの製氷機と別にスポーツ合宿用として導入した。
- Q. 神奈川でもM I C Eの誘致に取り組んでいるが、東京に隣接していて特徴的なものが打ち出せていない。
リピーターの獲得にどう取り組んでいるのか。
- A. M I C Eの誘致は、以前から取り組んでいたが、特に近年M I C Eに対する補助金が充実されてきた。
コンベンション施設も持っているが、民間でコンベンションを開催するのは大変なことで、M I C Eをどれだけ開催できるかは重要なところ。コンベンションセンターのリニューアルを行い、ビジネスセンターを作った。
食事やゴルフなどの遊びの部分や観光の部分については、行政と連携して営業を行っている。
- Q. M I C Eの参加者の宿泊は、こちらのホテルで足りているのか。
- A. 市内のホテルと半分ずつにしているものもあり、行政に間に入ってもらって分割していただき、団体を取ってくることもある。
- Q. 県との関わりだが、M I C E推進協議会に入ってもらい、県の負担でP R活動しているのか。
- A. 宮崎のM I C E受入用のパンフレットに載せていただき、それを色々なところへ持って行きP Rしている。
- Q. M I C E補助金は、どのような用途に使用されているのか。
- A. 用途として、宿泊料金の値下げをしたり、大きな看板を作ったり、差し入れるなどである。
- Q. 収益的に、スポーツ合宿、M I C E、個人旅行の割合はどうなっているか。
- A. ネット予約等の個人とスポーツ合宿、M I C E等の団体で分けると、個人と団体で五分五分の割合となっている。
- Q. シーガイア内で外国の方をよく見かけるが、外国人の割合はどれくらいか。
- A. 外国の方は、今の時期は多い時期なので18%くらい。会社として3割を超えないようにしている。
直行便がある韓国、香港、台湾からの観光客は多いが、それ以外の国からの観光客は少ない。中国からの直行便がないため、中国からの観光客が他よりも少ない。
- Q. 高校生のスポーツ合宿で利用することはあるか。
- A. 利用はあるが、ホテルではなくコテージを使用している。
- Q. セガサミーグループに入って、資本投下以外に相乗効果はあったか。
- A. セガサミーグループ内で50社程度あるが、グループ会社内に宣伝してもらい、グループ会社の保養に使用している。

III フェニックスゴルフアカデミー等スポーツ施設及びシーガイアコンベンションセンター

視察先 フェニックスゴルフアカデミー等スポーツ施設及びシーガイアコンベンションセンター（宮崎県宮崎市山崎町浜山）

日 時 平成29年3月28日（火）13時～16時

対応者 フェニックス・シーガイア・リゾート営業本部法人営業部副部長
瀬戸口 英明 氏

1 シーガイアコンベンションセンター

2000年の九州・沖縄サミット外相会合の開催会場にもなった施設であり、5,000名収容可能なサミットホールのほか、中会議室4室、小会議室4室の会議室を備えている。サミットホールは、積載能力6,000kgのカーリフトを装備しており、国際規模のコンベンションのほか、大型の展示会、博覧会、講演会や本格的なコンサート、ファッションショーまで対応できる。

ロビーには、ビジネスラウンジを設置し、ミーティングルームやパソコン、コピー機が設置されており、小規模ミーティングや事務所として活用することができる。また、パーソナルな仕事に取り組めるプライベートデスクゾーンも用意されており、クリエイティブに新しい発想を生み出すために快適な環境になっている。

ホテルからコンベンションセンターへつながる空間は、企業の「PRの場」、「商品案内の場」などに対応可能であり、アトリウムは、車両などの大型の物も搬入ができる入口となっており、展示・発表会など幅広く活用できる。

ロビー、ホワイエ、ラウンジに無料Wi-Fiを完備し、すべての会議室には、大人数対応のWi-Fiを完備し、1,000名が同時にWebアクセス可能となっている。



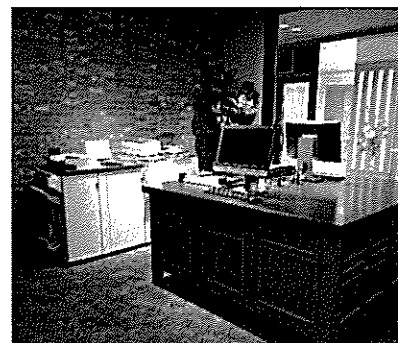
視察した日は学会学術総会が開催されていた



コンベンションセンター内部



ビジネスラウンジ



コピー機、パソコンが設置されており
事務所としても活用できる

2 フェニックスカントリークラブ

フェニックス・シーガイア・リゾート内の一ツ葉海岸の黒松林に沿ってレイアウトされているフェニックスカントリークラブは、1974年以降、毎年、日本最高峰の賞金総額を誇るダンロップフェニックストーナメントの舞台となっている。

ナショナルトレーニングセンターの競技別強化拠点施設（ゴルフ）にフェニックス・シーガイア・リゾートが指定されている。このため、プロゴルファーが練習に訪れている。

国内でも数少ないオーバーシードにより、年間を通して緑の洋芝でプレーすることができる。



説明を受ける調査団



写真上部が「フェニックスカントリークラブ」

写真中央が「フェニックスゴルフアカデミー」

写真下部左の建物が「シーガイアコンベンションセンター屋上」

シーガイアコンベンションセンターの上部グラウンドが「シーガイアスクエア1」

3 フェニックスゴルフアカデミー

天然芝から打てるティーグラウンドを備えた350ヤードのドライビングレンジをはじめ、フェニックスカントリークラブと同じレベルに整えられたショートゲームエリアなど、より実践的な練習が行える施設環境や、充実したインストラクターによる多彩なレッスンプログラム、さらに最先端の機器を使用してスイング分析でき、初心者からプロまで、すべてのゴルファーにとって最良のゴルフ環境を提供している。



説明を受ける調査団



バンカー練習場



天然芝から打てる 350 ヤードのドライビングレンジ

4 シーガイアテニスアカデミー

国際トーナメントの開催も可能なセンターコートをはじめ、照明灯を設置したコートがある16面のアウトドアコート、4面のインドアコートがある。屋外コートは、砂入り人工芝で表面加工したオムニコートで足にやさしいコートとハードコートがある。

アカデミーのカリキュラムは、技術力、年齢層ごとに用意されており、



シーガイアテニスアカデミークラブハウス

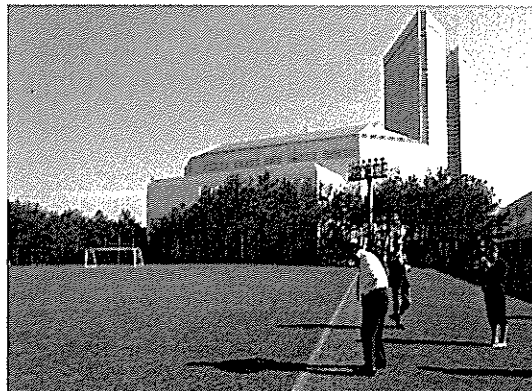
初めての方から経験者まで利用することができる。

5 シーガイアスクエア1

1万人を収容できる広大な多目的屋外広場で、展示会、コンサート、運動会など様々なイベントを開催することができる。スポーツキャンプでは、「ラグビー日本代表宮崎強化合宿」、「Jリーグ」などのプロ合宿で使用されている。



説明を受ける調査団



後方手前の建物がコンベンションセンター
高い建物がシエラ・グランデ・オーシャンリゾート

【質疑応答】

- Q. 宮崎市は、周辺に青島などの観光地があるが、周辺の観光地と連携はしているか。
- A. 夏の間、青島、宮崎市内、シーガイアを結んだバスを運行してお互いに送客している。
- Q. フェニックス・シーガイア・リゾートは、立派な松林の中にあるが、松がまったく枯れていない。松喰虫対策はどうしているか。
- A. 赤外線カメラを積んだ飛行機を飛ばして、見つけたら地上部隊が駆除している。非常に費用をかけて対策している。
- Q. ゴルフアカデミーやテニスアカデミーから活躍する選手は育っているか。
- A. プロになる者は出ているが、活躍するまでに至っていない。

IV スポーツランドみやざきの取組とMICEの誘致

視察先 宮崎県庁（みやざき観光コンベンション協会同席）
（宮崎県宮崎市橘通東2-10-1）

日時 平成29年3月29日（水）11時～12時

対応者 宮崎県商工観光労働部観光経済交流局観光推進課担当リーダー
財部 孝志 氏

宮崎県商工観光労働部観光経済交流局観光推進課副主幹：黒田 和臣 氏

みやざき観光コンベンション協会MICE推進局局長：柳田 哲宏 氏

1 スポーツランドみやざきの取組について

(1) スポーツランドみやざきの背景

宮崎県は、かつて新婚旅行ブームがあり、多くの観光客が来ていたが、それが段々と下火になり、観光を何とかしなければならなくなった。

古くからプロ野球の読売ジャイアンツなどがスポーツキャンプをしている実績があり、これを核にした観光の取組を進めていこうということではじめた。

温暖な気候や整備されたスポーツ施設など、宮崎県の特徴を生かし、スポーツキャンプ・合宿の誘致に積極的に取り組んでいる。

(2) スポーツランドみやざき推進体制の整備

平成8年にスポーツランドみやざき推進協議会が設立され、県、市町村、民間が一体となった推進体制を確立し、平成14年には、県の組織として、商工観光労働部観光・リゾート課に「スポーツランド推進担当」を設置した。スポーツランドみやざきの推進は、県の総合長期計画や観光振興計画に明記され、県における施策の大きな柱として位置づけられている。



説明を受ける調査団

(3) スポーツ合宿の実績

平成27年度のスポーツキャンプ・合宿の実績は、1,429団体、延べ参加人数198,202人となり、平成28年1月から3月の経済効果は144億6,700万円、プロキャ

ンプ観客者数は、979,331 人になるなど、平成 5 年に調査を始めてから過去最高を記録し、PR 効果も 75 億 9,900 万円を記録した。

平成 27 年度は、プロ野球だけでなく、ラグビー日本代表の長期合宿があり、韓国、中国のプロサッカーチームのキャンプの実施、実業団陸上チーム、大学ゴルフ部の合宿増もあり、過去最高を更新した。

プロ野球は 7 球団、J リーグは 22 チームが県内でキャンプを行っている。

J リーグのチームは、キャンプするチーム数が多いため、練習試合を組みやすい点も宮崎が選ばれる要因のひとつである。

(4) スポーツメディカルについて

宮崎大学医学部附属病院と連携して、選手個人のメディカルパフォーマンスの向上を図るためのメディカルチェックを実施している。

県内のアスリートトレーナー、理学療法士を束ねて、プロの合宿以外のアスリートトレーナーを帯同していない大学のチームなどから派遣の要請があった場合に派遣できる取組を進めている。

また、宮崎アスリートフードのパンフレットを作成し、県栄養士会と協力し、貧血に効く料理はどういったものか、減量、増量する際にはどういったメニューがいいかというメニューをモデル的に作り、栄養分析をしたものを記載している。このパンフレットを県内の宿泊施設に配っている。研修も行うが、この資料で、スポーツ合宿の受入経験の少ない宿泊施設でもレベルの高い食事が提供できるように支援している。

2 MICE の誘致について

(1) コンベンション開催支援補助金について

宮崎市内でコンベンションを開催した場合、県外宿泊者数に応じ、補助対象経費の 1/2 以内で補助している。費用負担は、宮崎県が 2/3、宮崎市が 1/3 を補助している。

大規模な MICE 誘致を促進するため、平成 28 年度から 1,500 人からの規定を新たに追加した。

国際会議、学会については、経済効果が大きいので、通常 100 人以上からであるが、特例で 100 人未満でも補助するメニューを設けている。海外インセンティブ（企業の報奨旅行）を海外から呼び込もうということで、平成 28 年度から設けた制度で、旅行会社に支払われる（旅行会社が場所等をコーディネートしているため）。



宮崎県庁及び

みやざき観光コンベンション協会からの説明

補助金の交付額は補助対象経費の1/2以内で、下記のとおり

| 延べ宿泊者数（県外宿泊者） | 補助限度額 |
|-------------------------------|-------|
| 100～ 249人 | 30万円 |
| 250～ 499人 | 60万円 |
| 500～ 749人 | 120万円 |
| 750～ 999人 | 180万円 |
| 1,000～1,249人 | 240万円 |
| 1,250人～ | 300万円 |
| 1,500人～ (うち外国人宿泊者数が600泊以上) | 600万円 |

※ただし、国際会議及び学術学会については、延べ宿泊者数100人未満のものについても次の特例がある。

○国際会議は外国人延べ宿泊者数が20人以上のものは120万円。

○学術学会は延べ宿泊者数が50人以上のものは60万円が補助限度額となる。

(2) アフターMICE

宮崎には豊かな自然があり風光明媚な観光地も多いことから、旅行や視察などでアフターMICEを楽しめる。食も楽しめ、県内を南北に結ぶ高速道路も開通したため、アクセスも良くなっている。

宮崎は、市内中心部から30分圏内に12ヶ所のゴルフ場があり、アフターMICEでゴルフも楽しめる。

(3) MICE誘致活動

誘致の実働部隊として動いているのは、みやざき観光コンベンション協会と、学会のキーパーソンや企業にセールスに行き、ときにはこちらに来ていただいて、環境を見ていただくという活動を従来から行っている。

東京と福岡で毎年1回誘致懇談会を開催して、キーパーソンの方に来ていただき、MICE環境の説明を行い、また宮崎の食材を食べていただき、宮崎にお越しいただきたいとお願いをしている。

各都市の競争が激しくなっている中で、宮崎らしいMICEを作っていかなければならないということで、平成27年11月に県内の市町村、観光協会、交通関係の企業、大学など48団体からなるMICE推進協議会を設立し、官民一体となって誘致を進めている。

【質疑応答】

Q. 修学旅行へのアプローチはどのようにされているのか。

A. 農家民泊という、農家に泊まって農業を体験する取組がある。こうした取組により修学旅行、教育旅行を増やしていこうとしている。

Q. MICEの支援制度が二つあるが、それぞれの予算額はどうか。

A. 開催支援の方が、来年度5,000万円となっている。

実績として、今年度は4,600万円から4,800万円程度になるかと思われる。

2年前に決まるものなど、事前に決まるものもあるが、5月に決まり11月に開催するものもあるので、余裕を見ている。

Q. 過去開催した一番大きなコンベンションは何か。

A. 2004年に開催した国際自由労連世界大会。日本の代表は連合で、140カ国が参加

し、当時の小泉総理大臣にも来ていただいた。

Q. 宮崎の県内総生産とそのうち観光が占める割合はどれくらいか。

A. 平成 25 年の県内総生産は 3 兆 6,000 億円。観光消費額は 1,502 億 8,200 万円となっている。宮崎県の産業は、農業がメインの産業だが、観光消費額は、農業総生産額の半分強の金額になっている。

Q. 今年度のスポーツ合宿は特に大変だったとのことだが、これ以上受け入れは難しいということか。

A. 通常でも 1、2 月は忙しいが、今年は更に WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）の受け入れがあり、併せてオリンピック・パラリンピックの合宿の視察がドイツ、オーストラリアから来ており、その対応もあったので大変だったということ。

受入に関しては、サッカーについてはほぼいっぱいになっている。受け入れられるグラウンドがもうない。野球についてもほぼいっぱいになっている。

ただプロに関してはいっぱいだが、アマチュアの方や、県内全体に広げて見ていけばまだまだ受け入れる余地はある。

Q. ビジネスホテルやシティホテルの稼働率はどれくらいか。

A. 1、2、3 月と 10 月、あと夏休みの期間は、スポーツ合宿や一般観光があり、11 月はゴルフ月間で、ダンロップフェニックストーナメントと LPGA ツアーチャンピオンシップリコーカップがある関係で賑わうので、12 ヶ月のうち 6 ヶ月は賑わうが、その他が厳しいので、年間ではよくて 6 割くらいの稼働率ではないかと思う。

Q. スポーツランド推進担当の方は、何人くらいいて、どんな仕事をしているか。

A. 県に 3 名の担当と 1 名のリーダーの計 4 名おり、それぞれ競技ごとに担当を分けている。

県の担当だけでは仕事が回らないので、観光コンベンション協会と協力して仕事をしている。観光コンベンション協会は実質 3 名で担当している。両者で合計 7 名。

7 名では対応しきれないので、市町村にもそれぞれスポーツランド受入の体制がありこの方々にも協力していただいている。

県のスポーツランド推進協議会を設置して、この協議会には、市町村や観光の業者が参加しており情報共有を図っている。官だけでやってもついでこないの、民間の方と一緒に官民一体となって活動を行っている。

V 宮崎県総合運動公園

視察先 宮崎県総合運動公園（宮崎県宮崎市熊野2206-1）

日時 平成29年3月29日（水）13時30分～14時30分

対応者 宮崎県スポーツ施設協会常務理事兼事務局長：入倉 俊一 氏

1 宮崎県総合運動公園の概要

宮崎県総合運動公園は、宮崎市の南部沿岸に位置し、南北に2 kmあり、松林を入れた広さは154ヘクタール。

宮崎インターチェンジから約10分、宮崎空港から約10分と交通の便が良い。

昭和49年に陸上競技場、平成10年に武道館、平成13年にサンマリスタジアム宮崎、平成16年に木の花ドームが建設された。

宮崎県総合運動公園内には、サンマリスタジアム宮崎（硬式野球場）、宮崎県武道館、木の花ドーム（屋内運動場）、陸上競技場、第二陸上競技場、第三競技場（サッカー場）、自転車競技場（ホッケー場）、補助球技場、屋内練習場、ラグビー場、投てき場、屋内プール、水泳場、軟式野球場、運動広場、トレーニング場、ひむかスタジアム（第二硬式野球場）、ゲートボール場、テニスコートの19のスポーツ施設があり、多様な競技がプレー可能となっている。

平成26年に宮崎県は、宮崎県総合運動公園の命名権（ネーミングライツ）協賛社を募集し、霧島酒造株式会社と契約を締結した。

これにより、宮崎県総合運動公園と、対象施設となっているサンマリスタジアム宮崎、ひむかスタジアム、木の花ドーム、陸上競技場、武道館の5施設は、「KIRISHIMA」の名称が冠された愛称がつけられている。

2 宮崎県総合運動公園内のスポーツ施設

(1) サンマリスタジアム宮崎（硬式野球場）

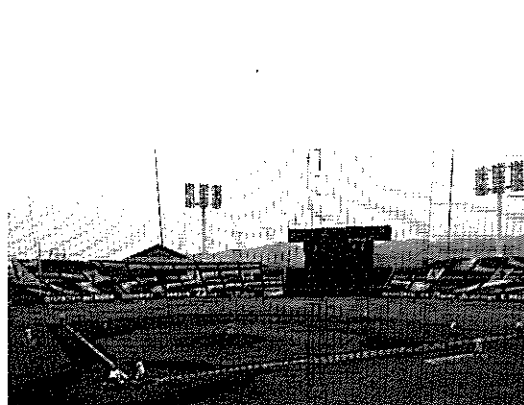
内外野総天然芝のグラウンド。

観客収容人員は30,000人で、スタンド観客席全域に車いす席（14箇所：70席）を設けている。

プロ野球の読売ジャイアンツの春季、秋季キャンプに使用されている。



説明を受ける調査団



視察した日は高校野球が行われていた

(2) 宮崎県武道館

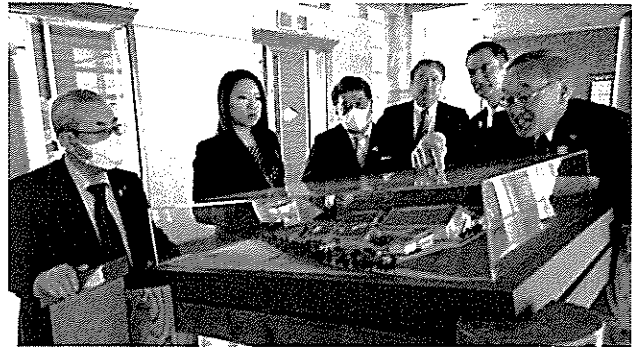
武道館は、主道場、副道場、剣道場、柔道場、相撲場、弓道場、トレーニングルームがあり、トレーニングルームは、誰でも1回360円で利用できる。

それぞれの道場には鏡がついており、空手道などの形の練習にも対応できる。

赤松や桜材で足の裏の感触を出すために、床にはあえてニス塗りをしていない。板張りの床下にはスプリングを設備するなど、競技に適した構造に配慮した作りになっている。

武道以外にも、バレーボール、卓球、バドミントン、スポーツレクリエーション等の多目的な利用も可能となっている。

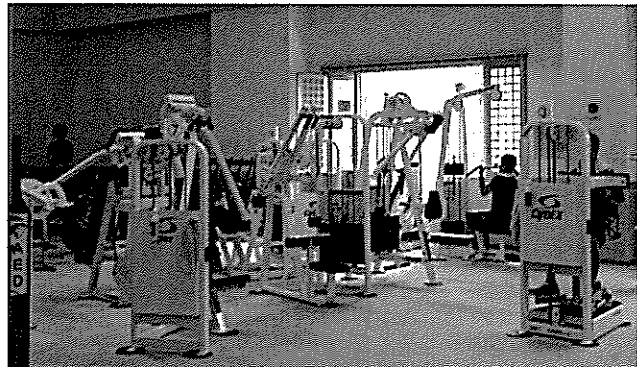
安く利用できることから、フラダンスなどにも利用されている。



説明を受ける調査団



材質の感触を出すためニス塗りをしていない床

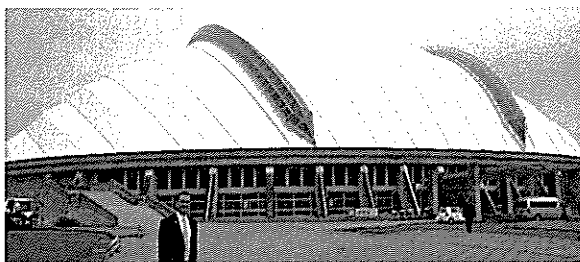


武道館内のトレーニングルーム

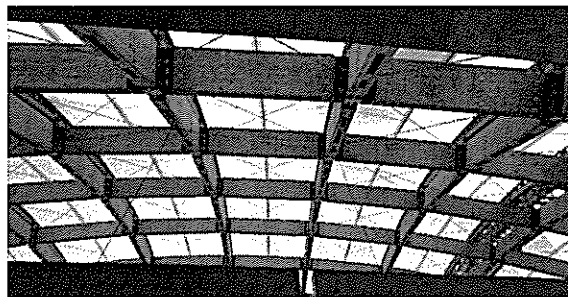
(3) 木の花ドーム（屋内運動場）

天井構造に宮崎県産杉材による集成材（約7,400本相当）を利用し、単層アーチ構造としては世界に類を見ないスパン100メートルを超える大規模木造ドーム。

日中は自然採光だけでも十分な明るさを確保できる。アリーナ全面は、天然芝に近い感触のロングパイル人工芝を採用している。



木の花ドーム外観



木の花ドームの天井

宮崎県産杉材による集成材を使用

(4) 陸上競技場

日本陸上競技連盟第1種公認の競技場であり、昭和54年に宮崎国体、平成4年に全国高等学校総合体育大会、平成5年に第1回世界ベテランズ陸上大会、平成8年にねんりんピックなどの全国・国際規模大会のメイン会場となっている。

視察した日は、陸上短距離の日本代表が練習を行っていたが、非公開練習日であったため、施設内に入っただけの視察はできなかった。

【質疑応答】

Q. 海から近いところにあるが、津波対策はどうされているか。

A. 津波避難マップを作成し、避難施設を利用者の方に周知している。

Q. 施設の管理はすべて1法人で行っているのか。

A. 道路や樹木の管理は別の団体が行っているが、スポーツ施設の管理は一括して行っている。

宮崎県スポーツ施設協会では、この公園の他に、宮崎県体育館と宮崎県ライフル射撃競技場の管理も行っている。

利用料金を含め、年間4億円で管理している。

硬式野球場、陸上競技場、ラグビー場、サッカー場は、一年中緑の芝を保つため、オーバーシードを行っている。